

## 令和3年6月 第9回議会改革活性化推進特別委員会

令和3年6月23日（水）

### ○議事日程

#### （1）課題の整理について

- ①議員定数について
- ②議員報酬について
- ③政務活動費について
- ④タブレット端末の導入について
- ⑤議会基本条例の検証について
- ⑥常任委員会の在り方について
- ⑦議会の透明性について（全員協議会・議会運営委員会の公開）

#### （2）その他

### ○出席委員（10名）

委員長	1番	芳賀芳夫君	副委員長	10番	村上忠弘君
	1番	川上絹子君		2番	向井孝一君
	3番	山崎仁君		4番	小川ひとみ君
	5番	日置紳一君		6番	内ヶ島祐一君
	7番	上村忠君		8番	岸徹也君
	9番	徳田栄邦君			（議長 村瀬廣君）

### ○欠席委員（0名）

### ○出席事務局職員

議会事務局長	伊藤靖徳君
議会事務局主事	五十嵐陽基君

開議 3時30分

◎委員長あいさつ

- 委員長（芳賀芳夫君） 開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は大変お忙しい中、第9回議会改革特別委員会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。本日は限られた時間でありましても、皆様の活発なご審議をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

◎開会の宣言

- 委員長（芳賀芳夫君） 只今の出席委員は11名で、定足数に達しておりますので、「第9回議会改革活性化推進特別委員会」を開会いたします。

◎議題1

- 委員長（芳賀芳夫君） これより議事に入ります。議題1「課題について」を議題といたします。初めに、会議の前にデモンストレーションを頂いた、タブレット端末の導入について、委員の皆様のご意見を頂き、方向性をまとめていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。感想という事でも結構かと思っております。ご意見をお願いいたします。上村君。
- 7番（上村 忠君） 先ほどデモンストレーションして頂きまして、触らせて頂きました。印象としては便利なものであるなという事と、説明を受ける場合に説明する側の意図が伝わりやすい、今回のデモンストレーションのシステムだなと感じました。ただ、議会だけで導入という事ではなくて、理事者側も役場としての導入を含めてのものだなというふうに感じた部分があります。その辺の部分が入入にあたって協議が必要になるのかなと、今回のデモンストレーションを受けて率直に感じました。
- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。その他ございませんか。向井君。
- 2番（向井孝一君） 今日のデモで、それぞれ感想があると思うので、全員から意見を聞いてほしいと思っておりますけれども。自分としては、今は導入という事には、ならないという気がしています。ただ将来的には、こういう時代が来るといのは覚悟しながら、議会活動が進んでいくと思うのですけれども。やはり現時点では、ペーパーの方が馴染んでいるという気がしています。
- 委員長（芳賀芳夫君） その他、日置君。
- 5番（日置紳一君） 今日来た人の話を聞いた中で、議会で導入している所は、まだ限られており、少ないような話で、もう少しすると簡単な、今金町議会の中で、アイコンというのか、スマホでいうと押すと出てくるような、もう少し機能が簡単に、議会に特化したような端末が出来るのではと思うのですよね。あれだったら普通のタブレットで、一般に使っているものを運用した形で、中々慣れないと難しいし、質問最中で、どこに出したら良いのか分からないような状態では、それだけでなく緊張をして質問をする中で大変だ

などと思うので、私はもう少し機械自体が進化するのを待った方が良い気がします。

- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。その他、岸君。
- 8番（岸 徹也君） 先ほどデモンストレーション、タブレットを体験させて頂きました。株式会社 SSE さんには大変感謝したいと思います。率直な感想ですが、慣れない画面だと私も最初戸惑った部分は事実としてありました。しかし触ってみなければこういったものは、習熟度は上がらないのかなと。そういう印象です。今回この SSE さんのソフトを使わせて頂いて、色々な体験をさせて頂いたわけですが、やはりこの1社のソフトで、方向性でしょうから、決定ではないでしょうけれども、何か決めていくという事ではなくて、もう1つ2つ、これは多分会社によってソフトの難易度簡単具合といいますか、違うと思うので、もう少し協議といいますか、体験をさせて頂ければいいのかなという思いしております。費用面であるとか様々な質問をさせて頂きましたけれども、議会だけの動きだけではなく、理事者も当然絡む話なので、中々高額なものでしょうから、簡単にはいかないという思いはありますけれども、もう少し協議が必要だと私は感じました。
- 委員長（芳賀芳夫君） その他ございませんか。小川君。
- 4番（小川ひとみ君） やはり得手不得手があって、操作の段階で差が付くと思いますが、やる時は全員がやれないと意味がないので、わかり易くないと戸惑う部分が多かったと感じまして、まだまだ皆様がおっしゃったように、色々開発される部分もあると考えると、皆でやれる可能なものを待った方が良いのかなと。でもその利便性はすごく感じました。皆様ですぐ共有できたり、同じ画面を発表者が変えられるのは時間の短縮になるし、ペーパーを探したりというのが、良く分かりました。そういう部分で、理解できた部分はあったと思います。すぐに導入は、皆様がおっしゃったように、難しいと感じました。
- 委員長（芳賀芳夫君） その他ございませんか。村上君。
- 10番（村上忠弘君） タブレットを導入する前提の中には、ペーパーレスを一応考えているかもしれないけれども、いきなりペーパーレスではなくて、例規集だとか基本条例の部分を取り扱うような事から入っていった方が良いのかなと私は思います。いきなり議案書をタブレットでは、まだ時期焦りょうかなと私は今日使ってみて感じました。
- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。川上君。
- 1番（川上絹子君） 今日、タブレットを練習してみて、時代の流れで、この時代がくるなど確実に考えたところです。福島町が現にやっているという事は、次の時に3年か4年後には、タブレットが導入される時代が来るのかなと。いっきに全部議案からタブレットで動くのは困難なので、もしやってみるのであれば、来年度からペーパーとタブレットの両方で慣れていくという形を取っていった方が良いかなと感じました。ただ私達の年代ではこれを覚えるのは困難なところがあるので、導入するとなると皆様に練習するしかないけれども、若い人なら、いとも簡単に操作を覚えられると思うけれど、年齢で覚えづらいところを感じたので、急には無理かなと感じていました。ただ現に時代の流れでそういう時代がくるし、ペーパーの代金、色々な事を加味したら、タブレット1つ持って議会

に来るのが望ましいと思いますが、もう少し時間が欲しいというのが正直な気持ちです。

- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。内ヶ島君。
- 6番（内ヶ島祐一君） 今日端末について、導入の講習会を受けました。その中で将来的にはペーパーレスになるのかなという感じがします。やはり操作する機会があれば何とか付いていけるとと思いますが、中々いきなり議案書となれば、議会の方も混乱していくのではと感じました。こういう機会が何度か出来れば良いかなという感じがしました。
- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。山崎さん。何かありませんか。
- 3番（山崎 仁君） このタブレット端末の導入という事で課題の整理がのっています、元々はペーパーレスの話から出て来ているものだと思います。大きく2つの課題があると思います。1つは行政側でいうペーパーレスにする事によるコスト。行政コストがどのくらいここで削減されるかという事が1つある。それは紙媒体をタブレットにするだけではなく、それに対する労力も含まれてくる。その辺の事がどうなのかなと。それともう1つこれは重要だと思いますが、先ほどの説明のなかでもあったが、検索システム。非常に議会としては有効なものだというふうに思います。検索は例規集もそうですけれども、過去の会議録。この会議録の検索という事が、過去のこれまでの理事者側、行政側の発言内容や議会の議論内容というのは、ここに明らかになるわけですから、昔以前は会議録を都度全議員に紙で配布していた経過があります。その後に希望する方に会議録を配布する事になりました。今はほとんど配布を希望して、頂いているという事になると思うし、それからウェブ上で見られるわけですが、検索システムが付いていない。ウェブで見ても検索システムが無いものだから、いつの会議の発言か自分で探さないといけない。今のタブレットで検索システムを活用するのは、そのところが明確に検索できるという事だと思う。議会というのはその辺にも趣を置いた考え方をしていく必要があるだろうと思います。それから今のハードでいうと、ハードはただの機械ですから、問題はどんなソフトが入っているか。入っているソフトをどう生かすか。これから先良いものが出るというよりは、うちの議会、役場でこういうソフトを作って下さいと行って、話を進めるものだと思う。さっきもバージョンアップしたものは、検索システムが中に入っているの、同じように私達議会は町では、こういうシステムでソフトを作って下さいという、これは議会だけで話は出来ませんから、当然行政側にもここに関わって頂きながら進めるべきだと思います。年代とか使える使えないではなく、対応できるソフトを考えて頂くという事は必要だろうと思います。今日多分ここで導入か否かにはならないと思うのですけれども、私の感想としてはこういうものが導入されれば大変有効な議会として議員として有効なツールの1つになるだろうと。そんな感じがしました。
- 委員長（芳賀芳夫君） ありがとうございます。徳田委員、何かありますか。
- 9番（徳田栄邦君） 実はいきなり会議システムというこのソフトから入っていったものだから、先ほど岸君がいったように、少し中身が高度になっている気がします。今スマホでも簡単スマホと行って、お年寄りでも十分使いこなせるようなスマホが出て

いますけれども、タブレットでも、今、山崎さんが言ったように、ソフトがもっと優しい物であれば、取り組みやすいと思います。実は道南でも何か所かタブレット導入しているようですけれども、黒松内は早くに、2年くらい前に導入しているので、それをネットで見ると本物の簡単なものですね。だから今日説明を受けた会議書き込み、そういう事よりも、まずは検索できる、そういうようなソフトが簡単に出来るものがあれば、私は、もっと導入が早まってくると思います。理事者側が、まだ何年から導入するというのは出したわけではないですから、もう少し議会としては、色々な方面から検討して勉強していった方が良くと思います。

- 委員長（芳賀芳夫君） 全員のご意見をいただきました。総じて必要性は認めるというご意見が大半であって、まだまだ調査研究が必要だと。さらには行政も交えた、そういった研究も必要ではないかという事で受け止めておりますけれども。今日はその方向性は見出さないで、次回に再度皆様にお諮りをして、その方向性を決めたいと思いますけれども、そういう事でよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

#### ◎その他

- 委員長（芳賀芳夫君） 次に議題2のその他について議題といたします。委員の皆様から何かありますか。

特に無ければ、次回の開催日程を決めたいと思います。皆様からご意見ございますか。なければ正副委員長と事務局に一任いただけますか。

（「はい」の声あり）

- 委員長（芳賀芳夫君） それでは、そのように決定をさせていただきます。

#### ◎閉会の宣言

- 委員長（芳賀芳夫君） 以上で、本日の特別委員会を閉会といたします。  
ご協力ありがとうございました。

閉会 4：00